



おのまち 議会だより

172号

令和4年
11月11日発行



定例会9月会議

4 常任委員会審査

6 8月第1回会議

6 10月第1回会議

7 町政を問う! 5人が一般質問

14 議会活動トピックス

小野中吹奏楽部によるオープニングセレモニー

定例会9月会議

9月1日～9日



▲議長席などにアクリルボードを設置して本会議を開催

令和4年小野町議会定例会9月会議は、9月1日から9日まで9日間の日程で開かれました。

会議では、令和3年度各会計の決算、令和4年度各会計補正予算など19件の町長提出議案と報告1件、議員提出議案1件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。

また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。

◆小野小学校体育館トイレ改修など新しい生活様式への対応経費を補正

各会計の補正予算額は、右の表のとおりです。

※1万円未満切り捨て

一般会計の収入と支出において、収入では地方交付税や国や県の支出金などが増額となりました。支出では、物価高騰対応給付金、新型コロナウイルスワクチン（オミクロン株対応）接種対策事業費、水稻農家支援肥料高騰緊急対策事業費、原油価格・物価高騰対応事業所応援給付金、スマイル公園脇トイレ浄化槽改修・多目的トイレ設置工事費、B&G海洋センタープール・照明改修工事などが増額となりました。

また、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、浄化槽整備推進事業、文化・体育振興基金特別会計では、現時点での所要の補正を行ったものです。

会計区分		補正額	補正後予算額
一般会計		1億7674万円	59億666万円
特別会計	国民健康保険	1155万円	11億5753万円
	後期高齢者医療	74万円	1億1784万円
	介護保険	7445万円	15億529万円
	浄化槽整備推進事業	31万円	7650万円
	文化・体育振興基金	41万円	255万円

◆令和3年度の決算を認定 全7会計 約95億円の支出を審査

※1万円未満切り捨て

会計区分		歳入総額	歳出総額	決算の主な内容
一般会計		68億1625万円	65億7767万円	町政各般にわたる諸事業に要した経費です。
特別会計	国民健康保険	12億6223万円	11億7579万円	国民健康保険に関する事業に要した経費です。
	後期高齢者医療	1億1719万円	1億1644万円	高齢者の医療給付に関する事業に要した経費です。
	介護保険	14億7355万円	13億2624万円	介護サービスに関する事業に要した経費です。
	浄化槽整備推進事業	6955万円	6604万円	町が浄化槽の設置と維持管理に要した経費です。
	文化・体育振興基金	286万円	244万円	文化・体育各団体へ活動補助金などに要した経費です。
	水道事業	収益的収支	1億6526万円	1億5541万円
資本的収支		5571万円	9838万円	企業債償還金及び水道管の布設替えなどの経費です。

◆町の財政を診断 健全な段階で推移

地方公共団体の財政の健全性に関する比率の報告

法律の規定により、町の財政の健全性に関する指標が報告されました。

数値は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は健全な段階で推移しています。

健全化判断比率(%)

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小野町	—	—	4.5	—
早期健全化基準(黄色信号)	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準(赤信号)	20.0	30.0	35.0	—

※実質公債費比率…普通会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全
※小野町では実質赤字や資金不足がないことから、それに関連する指標は「—」と表示

資金不足比率(%)

区 分	水道事業会計	浄化槽整備推進事業特別会計
小野町	—	—
経営健全化基準	20.0	20.0

条例の一部改正

◆小野町職員の育児休業等に関する条例を一部改正

国家公務員に係る妊娠・出産・育児等の両立支援のために講じる措置が示され、地方公務員の育児休業等に関する法律が一部改正されたことから所用の改正を行うものです。



財産処分

◆田村広域行政組合の解散に伴う田村広域行政組合会館、田村地方衛生処理センター、田村広域行政組合地域イントラネット及び車両の財産処分

地方自治法第290条の規定により議会において決議するものです。

規約変更

◆田村広域行政組合規約の変更

田村広域行政組合の解散に伴い生じる事務及び解散前に組合において処理した事務を構成市町村に継承するために変更を行うものです。

人事案件

◆人権擁護員候補者を適任と認定

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための人権擁護委員の候補者に、佐藤喜春氏(小野赤沼)と大方峯子氏(飯豊上)を推薦したいとして、議会に意見を求められたことから、全員一致で推薦は適任と判断したものです。



◆教育委員会委員の任命に同意

小野町教育委員会委員として、村上麻美氏(小野赤沼)を任命することに同意しました。



むらかみ めぐみ
村上 麻美氏
(小野赤沼)

議員提出議案

議員提出議案を1件可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者…宗像 芳男 議員



ここが聞きたい 質疑 常任委員会審査

予算決算常任委員会

町民生活課

問

おの悠苑とペット火葬場の利用数を教えてほしい。

答

昨年度の実績は、小野町が173体、他市町村が125体。また、ペットについては31体の利用である。

問

国保加入者で、出産育児一時金の受給者は4名であるが、現在出産に係る費用はいくらか。

答

特に調査はしていないが、出産一時金の支給額の42万円を下回るケースもある。

問

国保の被保険者と世帯数を教えてほしい。

答

当初課税の時点で1353世帯、被保険者数2200人である。

健康福祉課

問

介護給付費の不用額の原因は。

答

コロナの影響による、通所等の利用者の減少、施設入所者における町内の利用者の変動などが原因かと思う。

子育て支援課

問

幼児教育施設の跡地の利活用について、何か基本構想はあるのか。

答

まずは児童クラブを優先して整備する。子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を統合した子ども家庭センターの整備についても検討したい。関係課と協議しながら基本構想をまとめたい。

産業振興課

問

どのように発酵のまちづくりを進めていくのか。

答

乳製品、酒、味噌づくりで進めている。味噌については試作品段階であるが、販売までのハードルが高い。今後も作業部会とともに商品開発等に努めたい。

問

有害鳥獣としてイノシシを捕獲したが、被害状況は。

答

被害は出ているが、捕獲頭数が毎年減っている状況である。





▲投票用紙読取分類機を操作



▲電子黒板用プロジェクターとタブレットを利用した授業(小野中学校)



▲歩行者と車両の通行区分を明示(本町・万景上道路拡幅工事)



▲小野低温農業倉庫(品質向上物流合理化施設)※村上センター長より説明

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志
定例会9月会議	町長	令和3年度小野町一般会計・各特別会計等歳入歳出決算の認定 7件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和4年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和4年度各特別会計等補正予算 5件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		田村広域行政組合の解散に伴う田村広域行政組合会館、田村地方衛生処理センター、田村広域行政組合地域イントラネット及び車両の財産処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		田村広域行政組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10月10日 町長	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町長	令和4年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

8月第1回会議開催

8月10日に令和4年小野町議会8月第1回会議を開催し、次の議事案件について決定しました。

契約案件

◆小野町議会運営委員会の委員の選任

小野町議会委員会条例(以下委員会条例)第4条第2項の規定により6名であり、1名の欠員が生じたため、委員会条例第6条第4項の規定により議長より指名するものです。

― 議会運営委員：宗像 芳男 議員

◆田村広域行政組合議会の議員の選挙

田村広域行政組合議会の議員に1名の欠員が生じたため、田村広域行政組合規約第7条第2項より補欠議員の選挙を行い、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選するものです。

田村広域行政組合議会議員
竹川 里志 議員

10月第1回会議開催

10月20日に令和4年小野町議会10月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

補正予算

新型コロナウイルス感染症対応に係る対策事業として、地域公共交通等運行継続支援金、電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金、医療・介護・保育施設等物価高騰対策事業、畑作農家支援肥料並びに畜産農家支援飼料高騰緊急対策事業、第2弾小野町応援商品券の追加支給の費用を計上するなど、9660万8千円を増額するものです。

◆議会費の公表

議会基本条例第22条第2項の規定により、令和3年度の議会費の使途を公表します。

項目	金額	使途の内容
職員人件費	1890万円	事務局職員に係る人件費です。
議員報酬等	5524万円	議会議員の報酬や議員共済会への負担金等です。
議会運営	517万円	視察旅費、会議録作成料、各種負担金等です。
議会政策※	1万円	県などへの要望活動の経費です。
議会だより発行	70万円	おのまち議会だより4回分の発行経費です。
合計	8002万円	

※1万円未満切り捨て(議会政策費は6千円)



町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(11月下旬掲載予定)

会田 明生 議員 8ページ

- 1 健康づくりについて
- ◆ ・ウォーキングコースについて
- 2 産業振興について
 - ・木材利用促進の取り組み状況について
- 3 森林環境譲与税について
 - ・里山林の整備等について
- 4 教育行政について
- ◆ ・遠距離通学者への通学費助成について
- 5 公共交通について
 - ・鉄道利用の促進について
- 6 地域間交流について
 - ・一般廃棄物最終処分場への搬入自治体との交流について

水野 正廣 議員 9ページ

- 1 教育行政について
- ◆ ・小野高等学校の存続について
 - ・町の教育環境の将来について
- 2 観光行政について
 - ・町の6次化産業について
 - ・こまちダム周辺整備について
- 3 一般行政について
- ◆ ・町有財産の管理について
 - ・交流定住支援館敷地の利用について

緑川 久子 議員 10ページ

- 1 赤字路線を対象とした「地方鉄道存廃」について
- ◆ ・JR小野新町～いわき間(対象区間)の存続の取り組みについて
 - ～沿線市町村との連携を～
- 2 特別な支援を要する児童生徒の教育の現状と課題について
- ◆ ・子どもたち一人一人の特性に応じた学びと支援について

會田 百合子 議員 11ページ

- 1 公園の利用促進と環境整備について
- ◆ ・公園の利用促進について
 - ・環境整備や遊具の点検について
- 2 小野町LINE公式アカウントについて
- ◆ ・進捗状況と今後について

先崎 勝馬 議員 12ページ

- 1 人口減少対策について
- ◆ ・人口減少対策に対する施策の考え方について
- 2 町道の拡張について
- ◆ ・通学路の拡張について





健康づくりの取り組みのひとつ、 ウォーキングコースの整備状況は



運動公園内にウッドチップを敷設したコースの整備と、町中心部におけるウォーキングコースを設定したマップ作りを進めている



会田 明生 議員

問

健康づくりは、町長の推進する政策の一つであります。

健康づくりの取り組みに健康行動があります。小野町におけるウォーキングコース等の整備状況はどのようなになっているのか伺います。

町長

人々の生活が豊かになる傍ら、運動不足が原因となる肥満・高血圧・高脂血症などの増加が問題となっており、生活の中に運動を取り入れて健康を維持・増進す

ることは、大変重要です。

町の基本政策としては、「幸せは心と体の健康から」健康づくりの推進を掲げており、ウォーキングコースの整備はその一つです。

本年度は運動公園内にウッドチップを敷設したコースを整備するとともに、町中心部におけるウォーキングコースを設定したマップ作りを進めており、雨天時には町民体育館2階のランニングコースを歩行することも可能です。

これらのコースを例として、ウォーキングの普及・定着と各地区のウォーキングコースの設定、安全対策や表示物の環境整備を進めていきたいと考えています。

また、ウォーキングの動機付けとして、開



遠距離通学者への通学費助成について



高校生の支援策に関し先進事例等の情報収集と調査を実施し、教育環境などの充実を図る

問

小野町は町外の高校へ通学している生徒の割合が大きく、通学費が経済的な負担となっています。希望する学校へ進学できる環境、子育て世帯への経済的負担軽減のため助成制度を設けてはいかがでしょうか。

町長

町外への高校へ進学した場合、通学にかかる経済的負担が少なくないこと、県内においてすでに高校生の通学費助成を実施している自治体があることを承知しています。町では今年

度3年目を迎えた歴史を学びながら歩きを楽しむ文化財ウォーク実施に加え、今年度は新たに2本のストックを使って運動効果を高めるノルディックウォーキングの講座を計画しています。

さらに、県の先駆的健康づくり実施支援事業を活用して、花王株式会社による歩行研究、歩行の質改善プログラムを取り組みも予定しており、今後も運動の習慣化を念頭に置き、ウォーキングを通じて町民の健康維持増進施策を進めて参ります。

度笑顔とがんばり応援事業の全体的な見直しを行い、子育て支援策の拡充を図ったところですが、将来のまちづくりを担う人材育成の観点からも、高校生の支援策に関し先進事例等について情報収集を行いながら調査検討を進め、小野町の子ども一人一人が自分の将来に夢や希望を持ち、家庭の経済状況にかかわらず進路実現が可能となるような教育環境や子育て環境の充実を図って参ります。



水野 正廣 議員

問

小野高等学校の存続について

答

存続要望活動に区切りをつけ、地域の教育環境充実と地域活性化を図って参りたい

問 先の町民説明会において、県教育委員会の決定事項として小野・船引高校の合併と県側より説明を受けましたが、町としてはこれからも存続を強く要望していくのか伺います。

町長 小野高校につきまして、県教育委員会が本年1月24日に公表した県立高等学校改革後期実施計画の中で、船引高校と統合し今後は船引高校の校舎を活用することが示されました。

町では後期実施計画策定前から、議会や教育委員会、同窓会をはじめとした小野高校関係者などと連携・協力し、県教育委員会に対し存続要望や署名の提出などを行ってきました。

後期実施計画策定後も地域の教育力向上、人材育成そして地域活性化に不可欠である小野高校の存続に向け、私と議

長教育長の連名で県教育長に存続を求める要望書を提出するなど、再考を求める要望活動を行ってきました。また、7月15日に開催された住民説明会においても、小野高校の存続を求める多くの声が町民から寄せられたところです。

8月19日に県教育長が後期実施計画推進への理解を求めるために来訪しましたが、県教育長からは終始一貫して子どもたちにとってより良い環境づくりのため後期実施計画を進めるので、町にも統合に協力いただきたいとのことでした。県教育委員会に後期実施計画を見直す考えはないことから、苦渋の決断ながら、将来を担う子どもたちにとってより良い環境づくりへの道筋をつける必要があるため、これまで町が行ってきた小野高校の存続要望活動に区切りをつけ、地域の教育環境充実と地域活性化を図りたいと考えております。

再質問

小野町の高等教育の歴史を顧みると、県立小野高等学校、町立福島県小野産業高等学校、横山和洋女子専門学校と3校が存在し、県内高等教育の一端を担ってきた実績があり、先人たちの足跡を消してしまうのは誠にもって心悲しい次第です。存続が無理で

問

町有財産の管理について

答

外部委託を含め適切な維持管理を行い、健全な町有財産の保全に努める

問 町有財産は多くあると思いますが、土地財産等について伺います。

調整池等が草雑木等で目的を果たせるのか心配であり、管理はどうなっているのか、町長に伺います。

町長 町が所有する財産には、庁舎、学校、公営住宅などの公用または公共用に供する行政財産とそれ以外の普通財産がありますが、調整池は普通財産の1つとして町が管理をしています。

あるなら、継続教育施設を検討実現すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

町長

私が就任後、前教育長ならびに現教育長に再三小野高校の存続要望を行ってきましたが、県教育委員会としては後期実施計画を見直す考えはないということでした。これ以上存続要望をし続けても前に進まないため、大変残念ですが、そのような方向に舵を切らせていただきます。

空き校舎などをどのように活用していくかについては、現段階ではまだ舵を切ったところですので、庁舎内に検討する組織を整備し、町民の皆さんや

議会の皆さんからもいろいろと指導をいただいたながら、有効な活用を進めたいと思っております。現段階では県有財産ですので、県との協議もしなければなりません。ただ、一方でやはり町にとっては大切な施設ですので、町からの提言をしっかりとまとめて検討・協議をさせていただきたいと思っております。

一義的には教育施設ですので、教育機関、教育に関係する利用継続が望ましいですが、地域の活性化に資する活用も検討して参りたいと思います。

特に住宅団地の調整池については、地域住民の方々の協力もあつて、これまで健全な維持管理を行ってきたところです。しかし近年は年数の経過により周辺の雑木が大きくなり池に土砂が堆積するなど、これまでの管理方法では維持管理が困難な状態となっています。

住宅団地の調整池は住宅開発により森林が失われ、地下への雨水浸透能力が損なわれる場合に設置するもので、集中豪雨などの降水を一時的に池で受け止め、その後徐々に放流させることで局地的な氾濫を抑え、下流地域の被害を未然に防止する目的があります。今後は調整池のこれらの機能が損なわれることのないよう、外部委託を含め適切な維持管理を行い、健全な町有財産の保全に努めて参ります。



JR小野新町～いわき間(対象区間)の 存続の取り組みについて



沿線上の自治体と連携し 利用促進に向けた取り組みを進めたい



緑川 久子 議員

問 JRの厳しい経営状況の中、JR小野新町～いわき間は一日平均乗客数が2,000人未満の赤字路線として、存廃を協議する対象区間となりました。

鉄道は地域を支える社会基盤であり、採算性のみを重視する廃止は地域の衰退に拍車をかけるものであります。沿線市町村と連携し存続に向けた取り組みが必要と考えますが、町の見解を伺います。

町長 本年7月に国土交通省の有識者検討会は、鉄道事業者や自治体に経営が厳しい地方鉄道の存続策やバス転換などを検討するよう促す提言を示したのに続き、鉄道事業者のJR東日本は、利用者の少ない地方路線の収支を初めて公表いたしました。県内では4路線9区間が該当しており、その中に磐越東線いわき

～小野新町区間が含まれています。

磐越東線は町民の日常生活を支える重要な社会基盤であり、廃線となれば地方の衰退に拍車がかかると考えます。

町では国の動向を注視しながら、JR東日本をはじめ県鉄道活性化対策協議会や沿線自治体と連携し、磐越東線の利用促進に向けた取り組みを検討したいと考えています。

再質問 国土交通省は、地域公共交通の再構築について、JRと自治体関係機関との合意形成に向けて支援する意向を示しています。

しかし国の指導の下、地方創生の視点に立った鉄道の在り方や財政支援などの関与、協力的体制など国が責任ある方針を示さない限り、合意形成は難しいと思われます。存続に向けての取り組みは、いろいろな対応策が考えられます。町としても各自治体との連携を深め、JR・国・関係機関との話し合いの場に臨んでいただくことを要望しますが、考えを伺います。

町長 7月に表明があった時点で、郡山市・三春町・田村市・いわき市の副市長に、小野町の菅野副町長を通じて、早急



子どもたち一人ひとりの特性に 応じた学びと支援について



一人ひとりの教育的ニーズに 応じた支援の充実に努める

問 文部科学省は近年、全国的に特別な支援を要する児童生徒が増える中、一人一人の特性に応じた学びの充実、きめ細やかな支援といった新しい時代の特別支援教育の在り方を示しました。

指導にあたる専門性の高い教員の配置など、教育現場の現状と取り組みについて伺います。

教育長 現在小野小学校には、特別支援教育のために知的障害学級2クラス、情緒障害学級2クラスの計4クラスがあり、26名の児童がいます。また、

通常学級に在籍する特別な支援を要する児童のために、特性に応じた指導を週1時間程度行う通級指導教室で18名が学んでおり、中学校では知的障害学級と情緒障害学級が各1クラスずつの計2クラスがあり、12名の生徒が学んでいます。

現在学校で担任をしている教員の多くは、特別支援教育の免許状を有しており、そうでない場合でも指導経験が数年ある教員が、児童生徒の特性に応じた指導を行っています。

更に学校では、特別支援教育充実の推進役として、特別支援

については国が積極的に関与していただきたいということ

人口減少が加速する中、国に対して申し上げていきたいのは、何でも採算ベースで物事を考えると、地方は本当に衰退していくということをしつかりと認識し、磐越東線

今後児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努めて参ります。

今後は児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努めて参ります。



會田 百合子 議員



町の公園の利用促進について



遊具の更新や環境整備を行い 積極的な利用促進に努める

問 子どもたちの遊び場として、大人の散歩や健康維持のための運動や休憩の場所として、公園は重要な場所です。今後利用促進に向けてどのような取り組みに取組んでいくのか伺います。

町長 町内には中央児童公園や塩釜神社境内の万景公園、小野運動公園内にあるスマイル公園などがあります。万景公園やスマイル公園については、原発事故後運動機会が減少した子どもたちの運動不足の解消と健康増進を図るた

め遊具の更新を行い、子どもたちが安心して屋外活動ができるよう環境整備を行っています。

公園に関する情報については、子育て応援ガイドブックや暮らしのガイドブックに掲載しているほか、スマイル公園において子育て支援事業を実施することにより、周知活用を図っておりま



小野町LINE公式アカウントの 進捗状況と今後について



利便性の高いサービスを提供し、 町政情報が伝わるように努める

問 自然災害や不安定な気象状況において、情報はとても大切なものだと思います。2021年10月より運用されていますが、進捗状況と今後どのように進めていくのか伺います。

めており、以下40代30代の順となっており、20代の若年層の登録が少ない状況です。

町長 昨年10月1日より小野町LINE公式アカウントを開設し、新型コロナウイルス関連情報や防災情報、観光イベント情報などを登録者に配信しています。本年8月31日現在の登録者数は625名で、年代別で見ますと50歳以上の方が277名で全体の44.3%を占

防災上でのLINEの活用については、基本メニューで表示される防災情報の部分を選択すると、公式ホームページに掲載の防災ガイドブックなどが閲覧でき、ハザードマップや避難所などを確認することができま

現在のところ緊急時における町からの防災情報については、適時必要な情報を防災行政無線により全町民に周知しているところですが、LINEについては、自身の利便性の高いサービスを提供することで更なる認知を図り、多くの皆様に町政情報が伝わるよう努めたいと考えています。



人口減少対策に対する 施策の考え方について



町の実情に合った施策を考え、生み出し 効果的に進める



先崎 勝馬 議員

問 現在当町では、人口減少に歯止めがきかない状況にあります。

移住者が見込めないのであれば、他町村のアイデアを参考に交流人口または関係人口の増加の施策に重点を置くべきと考えますが、町の考えを伺います。

町長 人口減少対策につきましては、「未来へおのまち総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策の着実な推進を基本に進めているところですが、振

興計画審議会や総合戦略推進会議による評価や客観的な視点からのご提言について、PDCAサイクルにより翌年度事業へ改善策を反映させながら、取り組みを進めているところです。今後は議員よりご提案のあった様々な取り組み事例などを参考に、町の実情に合った施策を考え、生み出し、限りある予算の中で効果的に進めて行く必要があると考えています。

交流人口や関係人口の増加策についても、町民の皆さんと連携しながら取り組みの施策づくりを行い、小野町を訪れていた多くで小野町の良さを知っていただき、移住にもつながって行くよう進めたいと考えています。



通学路の拡張について



町内全域の道路整備状況等を 見極め検討する

問 町道荒町・鬼石線で文化の館の斜め後ろの通学路に該当する部分の幅員が狭くなっています。

町に土地を協力していただける方がいるため、早急に拡張すべきと思いますが、町の考えを伺います。

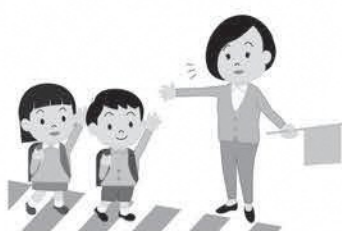
間であることから、拡張の必要性はあると認識しており、関係地権者からの協力の申出は、とても有り難いと感じています。

しかし道路を拡張するためには、道路と協力用地の高低差の問題や工法の選定など、様々なことを調査・検討していく必要があります。

今後とも人と車に安全安心な道路整備が図られるよう努めますので、ご理解をお願いいたします。

町長 議員ご指摘の場所は、スクールバス発着所となっている多目的研修集会施設から小野小学校を結ぶ通学路や公共施設へのアクセス道路として重要な路線です。現状の道路は幅員が2.5メートルから3メートル程度の狭あい区

間であることから、拡張の必要性はあると認識しており、関係地権者からの協力の申出は、とても有り難いと感じています。



常任委員会研修レポート

研修先…埼玉県横瀬町

埼玉県ときがわ町

実施期日…令和4年10月12日～14日

厚生産業常任委員会

委員長

会田 明生

当委員会では、人口減少が続く中で、いかにして地域を盛り上げていくかを研修のテーマに、参考にしたい事例を調査しました。

よこらば

「よこらば」は、横瀬町が提供する、まちづくりの実践や実証試験などができるチャレンジの仕組みのことです。

平成28年から本年9月まで、企業や団体、個人から201件の提案があり、118件が採択されています。

提案の内容は、教育や子育て関連が最も多く、次いで新技術の活用・開発といった状況。提案は町内外を問わず可能なので、町外の企業等による事業も展開されています。

様々な事業が実施されることにより、案件が案件を呼ぶ好循環につながっていて、関係人口の拡大や若い世代の移住、起業へと

波及しています。

ENGAWA

会場となったArea898にて

「縁が環(わ)」となる、地域経済循環の仕組みで、地元の農林産物を活かした料理や商品の開発・販売などを行っています。

開発した商品などは、町内の道の駅で販売し、結果・実績を反映しながら、商品開発等にチャレンジしています。

オンライン相談

小児科・産婦人科オンライン相談事業は、官民連携事業「よこらば」に提案があり実現された仕組みです。

横瀬町には3つの医療機関はあるものの小児科は無く、子育てに困った時の相談・情報を得られる場が求められていました。

約270名の町民の方が登録していて、年間に100件前後の相談があり、利用者の満足度も高く、不安の軽減にも役立っています。

特にコロナ禍においては、小児科や産婦人科の少ない地域にとって、オンライン相談は有効な手段のようです。

木材利用促進

ときがわ町は、町の約7割を森林が占め、スギやヒノキは利用期を迎えたものの、木材価格の低迷や担い手不足等の課題に直面していました。

床や壁が木質化された教室

校舎の長寿命化と内装木質化を合わせ、経費を抑えた施設改修の方法は「ときがわ方式」として紹介され、町産材は県内の他の自治体にも供給されるほどPR効果もありました。

住宅リフォーム助成金は、移住・定住促進に期待し対象を新築にも拡大する方針です。

研修を終えて

両町の皆さんの熱量に圧倒された2日間。町への思いの強さや地域活性化に向けた具体的な取り組みの速さ等、学ぶことだらけでした。



議会活動トピックス

議会改革等についての視察に来町(10月3日)

山形県白鷹町議会運営委員会のみなさんが、通年議会や夜間議会など議会改革の取組等について視察に訪れ、意見交換を行いました。



議会改革についての意見交換(小野町議会はタブレット使用)



白鷹町議会のみなさんと

福島県町村議会議員研修会に参加(10月24日)

県町村議会議員研修会が、ビッグパレットふくしまで開催され、県内各町村議会より約600人の議員が参加しました。

東北大学大学院情報科学研究科の河村和徳准教授が「町村議会のあり方と今後の議会改革～ウィズコロナを意識して」と題し、地方議会をデジタル化するメリットや意義などを述べた。続いて政治ジャーナリストの細川隆三氏による講演会が行われました。



研修会受講の様子



講演会の様子

議会活動日誌

8月

- 3日～5日 監査決算審査
- 10日 議会運営委員会／全員協議会／8月第1回会議／月例全員協議会
総務文教・厚生産業常任委員会
- 19日 福島県町村議会議長会幹事会（福島市）
- 23日 令和4年度町村議会正副議長・事務局長研修会（福島市）
- 24日 県町村議会議長会決議事項に係る国への要望活動（東京都）
- 25日 例月出納検査／決算監査報告
- 26日 都市計画審議委員会
- 29日 議会運営委員会／全員協議会／厚生産業常任委員会

9月

- 1日～9日 小野町議会定例会9月会議
- 2日 総務文教常任委員会
- 8日 予算決算常任委員会現地調査／広報編集委員会
- 9日 月例全員協議会
- 26日 例月出納検査
- 27日 小野町戦没者追悼式
- 30日 田村広域行政組合議会議会運営委員会・全員協議会（三春町）

10月

- 3日 山形県白鷹町議会視察研修来庁
- 7日 田村広域行政組合議会定例会（三春町）
公立小野町地方総合病院企業団議会定例会
- 11日 月例全員協議会
- 12日～14日 厚生産業常任委員会行政視察（埼玉県）
- 16日 小野町消防団秋季検閲式
- 18日～19日 田村広域行政組合議会視察研修
- 20日 議会運営委員会／全員協議会／小野町議会10月第1回会議
- 24日 町村議会議員研修会／三春町議会との交流会
- 25日 例月出納検査
- 26日～27日 令和4年度町村監査功労者表彰式・監査委員全国研修会（東京都）
- 27日～28日 総務文教常任委員会行政調査（群馬県）
- 28日 郡山広域消防組合議会 議会運営委員会・本会議（郡山市）
- 29日～30日 小町ふれあいフェスタ

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

定例会12月会議は

12月1日(木)から開会します。

一般質問は12月2日(金)の予定です。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがあります。また、傍聴席が満席の場合は会議室でのテレビ視聴を行いますのでご理解とご協力をお願いします。

- 一般質問の様子をYouTubeによる動画配信をいたします。

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

令和4年
11月11日発行

172号

QRコードから
アクセス
してください



マチイロ
マチを好きになるアプリ

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」
をお届けできるよう、スマートフォン用無料広
報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。
ぜひご覧ください。

マチイロで配信しています！

スマホ用アプリ

10月29日、30日「2022小町ふれあいフェ
スタ」が3年ぶりに開催されました。
小野中学校吹奏楽部の皆さんの演奏による
音色が響き渡り、素晴らしいオープニングと
なりました。



表紙の写真

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

● あとがき ●

本年は例年になく早くから猛暑となり、長い夏が過ぎ、浴衣の君が薄の簪を差す季節となつて、秋の田の刈り取りの真只中であります。

世は相も変わらずコロナ感染症、ロシアとウクライナの戦争、統一教会と政治家の癒着、オリンピックの汚職、北朝鮮によるミサイル発射等、今の世の中右も左も真つ暗闇じゃござんせんか。昭和・平成・令和となつても何も変わつちやいせん。格差社会の中でも明日信じてばあつといきましよう。また明日の心だあ。

皆様の百八つの煩惱を消しさる年の瀬の鐘の音が近づいて参ります。

良い歳を迎えられますようお祈りいたします。

小野町議会広報編集委員会 委員
宗像 芳男